

探究心と

思いやりの醸成

学長 香川 征 (かがわすむ)



徳島大学へようこそ 入学を心より歓迎します

徳島大学への入学おめでとうございます。

現在、日本において、グローバル化や情報化の進展、少子超高齢社会などの社会の急激な変化は、多くの方面で様々なそして重大な問題を起こしています。言い換えれば、将来の予測が困難な時代となっています。この予測困難な時代において、今後の変化に対応できる基礎力と応用力を持つ未来を担う人材育成が大学に求められています。

社会の複雑性の進行そしてそれに伴う多様性にも対処できる人間力を、これからの4年間または6年間の大学生活で身につけるよう、有意義な大学生活を過ごすよう心より願っています。

徳島大学生に望むこと

大学入学的国際的資格を認定する「国際バカロレア」の理念は全人教育であり、日本でも導入されつつありますが、以下のような学習像を目標としています。

◎学問・研究をするにあたって心にかむこと
探究する人・知識のある人・考

える人・挑戦する人・振り返りができる人の5項目があげられています。是非、入学後、教育を受けるにあたりこの5項目を念頭に置き、積極的に学ぶ姿勢を身につけてください。

◎人間として世の中で生活することに必要と思われること
コミュニケーションができる人・信念のある人・心を開く人・思いやりのある人・バランスのとれた人の5項目があげられています。

学問・研究だけでなく、人間性を涵養することが大事です。特に人に対する思いやりは、自分の感性を磨かなければ本物のものとはなりません。

これらのことは、OECD(経済協力開発機構)の報告にある ① 言葉や知識を相互作用的に用いる能力 ②社会的に異質な集団で交流できる能力 ③自律的に活動する能力が要求されているわけです。総合的には、周囲の環境や社会的な働き、そして自らが果たすべき役割を認識しなければなりません。大学の学問は今までと違い、深い探究心に基づく本当の知識を身につけることです。また、専門的知識と教養的知識のバランスも必要です。すなわち、柔軟な見方や広い視野、幅広い知識に基づく

確かな理解力や判断力、コミュニケーション力を身につけることが重要です。一見無駄と思えるような知識も積極的に取り入れ、受験勉強のような正解が1つという答えを求めるスタイルを変えることが重要です。

グローバル化時代に生きる

グローバル化時代に生きること、生きなければならぬことを考えてください。ただ単に英語が話せるということではないことは明らかです。

日本文化の正確な理解とともに、異文化への理解、異文化で生活する人への理解と対話が必要です。自分の世界以外は理解しない、あるいは異文化を拒絶したのでは、今のような世界が狭くなった状況での生活は無理になってきます。相手の理解し自分も理解してもらう努力が肝要です。

徳島は気候、自然に恵まれ、食べ物もおいしい土地です。健康に留意し、楽しく有意義な学生生活を送るよう願っています。

副学長の新生歓迎の言葉

「諦めない人間力」(魔法の杖)を 手に入れよう

副学長理事(教育担当) 高石 喜久 (たかいし よしひさ)



徳島大学へ入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。大学は「こころざし」を持ち学ぶ学生さんの「夢を叶えるプラットフォーム」です。このプラットフォームでどの様に過ごすかは、皆さんの将来を大きく左右する人生の分岐点になるかも知れません。私たち教職員

一同は、皆さんが充実した大学生生活を過ごし、皆さんの夢を叶えていただくため、精一杯お手伝いをしたいと考えています。

「こころざし」を 持ちましよう

昨年、イタリアの名門クラブ

A Cミランに入団した本田圭佑選手は、12歳の時、卒業文集に「ヨーロッパのセリエAに入団します」「そして、レギュラーになって10番で活躍します」と書きました。彼はこの「こころざし」を正に実現しました。アメリカのエル大学为例を示します。卒業生調査によりますと、大学時代に「こころざし」を持ち、その実現計画を書いていた人は3%でした。20年後卒業生の資産を分析した結果、卒業生総資産のほとんどはその3%の人たちが占めていたそうです。勿論、お金儲けだけが人生の全てではありませんが、「こころざし」を持ち、それを紙に書き、実行していくことは夢を叶えるために重要です。

「学び」が、自分を、 社会を変えます

学びが、自分を、社会を変えていきます。朝日新聞の記事を紹介します。パキスタンの主婦が識字教室に通い「文字を知ってから世界が変わった」「幸せが何倍にもなった」と言っています。フィリピンの子供たち5人は泥だらけの英語の教科書に顔を寄せ合い、朗読し、地面に木の枝で覚えた英単語を書いていきます。これらは学び

の原点です。学びの原点は「松下村塾」にもあります。私は、その建物を見て驚きました。こんな小さな建物で、何故日本の近代化を進めた偉人が数多く生まれたのか。学びの原点は、「こころざし」にあります。「こころざし」を持ち、学び、学ぶ喜びをかみしめ(感じ)、学ぶ目的を見いだし(考え)、それを基に行動すれば自分が、社会がかわります。

「諦めない人間力」

「こころざし」を持っていても、すぐ諦める人、逃げる人は「こころざし」を実現出来ません。本年1月徳島大学にとって嬉しいニュースが飛び込んできました。4月1日付で、日立製作所の新社長に本学工学部出身の東原敏昭氏が就任することになりました。新聞記事によると、37年前、当時設計主任であった現社長は徳島大学卒の大柄な新人社員に対し「どんな課題を与えても食らいつく男や」、現会長も「修羅場でも豊かな人間性を崩さない男や」と思っただけです。天才アインシュタインは大学受験に失敗し、やっと入った大学で教授からは才能がないと烙印を押され、大学には残れず、就活にも苦勞し、家庭教師

「魔法の杖」を持つ

徳島大学へ入学された皆さん、心が新たな今、「こころざし」を持ち、それを書きとめ、「実現する計画」を立てて行動し、「諦めない人間力」を徳島大学で鍛えましょう。「こころざし」と「諦めない人間力」があればあなたの人生の「魔法の杖」が手に入り、夢は叶います。

（在学生の歓迎の言葉）



総合科学部
人間文化学科 3年
宮澤 卓嗣
(みやざわ たかひで)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学での新しい生活に期待で胸が膨らんでいることでしょうか。大学へ入学するため、長い受験勉強の間頑張ってきたことと思います。

さて、大学では今までの生活とは違い、大幅に自由な時間が増えます。その時間を有意義に過ごせば、勉強、サークル、アルバイト、他にも様々な事に挑戦することが出来ます。高校までの勉強では、知識を覚える事が主体でしたが、大学ではその知識が果たしてどのようなものなのか、そしてそれが社会ではどのように活用されているのかを学ぶことができる場であると私は考えています。

大学生として様々な経験を積み、卒業後、立派な人間となれるよう応援しております。



医学部
栄養学科 4年
植田 知瑠
(うえた ともよ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。苦しい受験を乗り越え、晴れて徳島大学の一年生となり、これから始まる新しい生活に期待で胸を膨らませていることかと思えます。

私自身も、入学して早や3年が経ちました。この3年間を振り返り、これから大学生活を始める皆さんに一番伝えたいことは、「多くの人と触れ合ってほしい」ということです。同じ学部や学科、部活動、サークル、アルバイトなどどんな場所でも構いません。私はこのキャンパスで素晴らしい友人や先輩・後輩、そして先生方に出会いました。苦しいことや大変なことがあっても周囲の人がいたからこそ乗り越えられたことがいくつもあります。ぜひ皆さんも、尊敬でき、互いに高めあっているような相手を見つけてください。皆さんの大学生活が豊かなものになることを願っています。



歯学部
口腔保健学科 4年
高橋 麻央
(たかはし まお)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

長い受験勉強お疲れ様でした。いよいよ待ちに待った大学生活が始まりますね。皆さんそれぞれがこれからの生活に対する期待や不安などさまざまな思いを抱えていることでしょうか。

大学生活では、高校生の時に比べて自由な時間が増えます。私はその時間を有効に使って、アルバイトやサークルを始めることをおすすめます。さまざまな人と出会い、新たな経験をすることで、きっと自分自身の成長につながると思います。大学生活は長いようでとても短く、あっという間に過ぎていきます。ぜひいろいろなことに挑戦して、悔いのないように充実した大学生活を送ってください。



薬学部
薬学科 6年
阿部 遼
(あべりょう)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

いよいよ大学生活が始まりますが、皆さん様々な希望や不安を抱いているのではないのでしょうか。不安を解消し、日々をより充実したものとするためには、これまでに以上に人とのつながりが重要になってきます。

大学では「自分で考え、実行していく」ことが大切です。しかし、私自身の話ですが、自分一人の力だけではどうしようもない時もありました。そんなときに手を差し伸べてくれたのは、大学でできた友人や先輩です。彼らがいってくれたから、私が今ここにいられるのだと感じています。これから皆さんを待っている出合いを大切にし、より良い人間関係を築いていってください。皆さんが素晴らしい大学生活を送れることを心より願っております。



工学部
電気電子工学科 3年
秋田 祥慶
(あきた よしのり)

徳島大学へようこそ。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験勉強を終え、ようやく羽を伸ばすことができていることでしょうか。大学生活は自由な時間が多く、好きな時に好きなことをできるようになり、様々なことに挑戦する機会を得ることが出来ます。大人に一步近づいた分、一つ一つの行動に責任が求められるようになります。興味のあることには積極的に挑戦してください。例えば、部活動やアルバイトなどを経験しておくこと、同級生だけでなく先輩や後輩と交流でき、視野が広がり、人間的にも成長することが出来ます。大学生活は始まったばかりですが、月日が経つのは本当に早いです。自分の時間を最大限に有効活用し、様々なことにチャレンジして思いきり楽しんでください。



全学共通教育センター
センター長
荒木 秀夫
(あらいしげお)

全学共通教育センター

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから新しい環境の中で新しい生活が始まりますが、最も大きな変化は大学での授業でしょう。皆さんが入学して最初に受けるのは「全学共通教育」です。「全学共通教育センター」は、全学部の先生方の協力を得て「全学共通教育」を運営する組織です。その全学共通教育とは何かというと、専門分野の枠を越えた「教養教育」と専門教育を受ける上で必要な「基礎・基盤教育」です。ユニバーシティ（大学）は、歴史的にヨーロッパで誕生し、「教養教育」を行うことから始まりました。800年ほど前の時代です。その後、今日までに様々な職業分野や学問的分野へと拡がるようになりましたが、どのような分野を学んでも、その土台となる「もの

その力こそが学問を支え自らの知性を高めていくことになるでしょう。

「全学共通教育」の目的は、まさにこの点にあります。高校生の時、苦手と思った科目も全学共通教育では積極的に学びましょう。高校時代には予想もしなかった新しいことを発見することがあります。全学共通教育はいろいろな学部生がともに学ぶことが多いことも特徴です。皆さんは、それぞれの思いで春を迎えたことと思いますが、学ぶ喜び、知る喜びを得て、何よりも充実した学生生活を送ることを心から願っています。



学務部 教育支援課 共通教育係
有井 美保
(ありい みほ)

教育支援課

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長い受験生活を終え、これからの大学生活に期待や不安を抱えていることと思います。

初年度に皆さんが学ぶ授業に「全学共通教育科目」という、5つの科目群から構成され、教養教育を中心としたあらゆる分野の基礎となる授業があります。これらの授業は、これまでのように決められた時間割で勉強するのではなく、自分で学びたい授業を選んで履修登録をしなければなりません。沢山の授業題目の中から学びたい授業を選ぶのは、大変な作業ですので戸惑われると思いますが、全学共通教育履修の手引や全学共通教育授業概要（シラバス）をよく読んで、慎重に履修登録してください。わからないことがあれば、教育支援課の共通教育係で相談のっていますのでご利用ください。

あと大学では、ホームルームなどありませんので、休講や教室変更などの大事なお知らせは各自で確認する必要があります。教務事務システムから送られてくるメールや全学共通教育の掲示板・電子掲示板で情報を随時発信していますので注意して見ることを習慣づけるようにしてください。

それぞれの学部で専門の授業を学ぶ前に、全学共通教育の授業で様々な分野の基礎をしっかり学び、今後に活かしてもらえればと思います。また、全学共通教育の授業は、他の学部の教員や学生と接することができる場でもありますので、交流の輪を広げるのも良いと思います。そんな中で、もし迷うことや戸惑うことがありましたら、共通教育係に気軽に相談に来てください。新入生の皆さんが有意義な大学生活を送れるようお手伝いできればと思っています。

（私たちも応援します）

切さは現代においても変わらず、

（私たちも応援します）



附属図書館

学務部 図書館企画課
雑誌情報係
亀岡 由佳（かめおかゆか）

皆さん、ご入学おめでとうございます。図書館は静かに読書や勉強をするところ：そんなイメージはありませんか？徳大図書館はそれだけではなくあります。

本は学習・研究用以外に小説などもあり、CD・DVDや電子ジャーナル・電子ブックも利用できます。館内にはパソコンもありレポート作成や調べもの、履修登録を行うのに便利です。友達と話し合いながら勉強したい場合はグループ研究室やグループワークコーナーを利用してください。ここは対話しながら利用することができるスペースです。一方、静かに自習したいときは個人机を配置した学習室や研究個室がオススメです。そして、疲れたとき、お腹がすいたときは飲食できるスペースのカフェテリアで休憩してはいかがでしょう？

められます。最初は慣れなくて大変かもしれませんが、でも徳大図書館は皆さんの学習を応援していますので、わからないことがあれば何でもお尋ねください。図書館をたくさん利用して、楽しい学生生活を送ってくださいね。

利用案内

●附属図書館本館（常三島キャンパス）
月～金 8:30～22:00（休業期は17:00まで）
土・日・祝日 10:00～17:00（休業期の日・祝日は休館）
●附属図書館蔵本分館（蔵本キャンパス）
月～金 8:30～21:00（休業期は17:00まで）
土・日・祝日 10:00～17:00（休業期の日・祝日は休館）
※5月の連休、8月の一斉休業日、年末年始等は休館します。
詳細情報はホームページからご確認ください。
徳島大学附属図書館ホームページ
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

保健管理・総合相談センター

臨床検査技師
武内 早苗（たけうちさなえ）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保健管理・総合相談センターは、保健管理部門と総合相談部門より構成されており、皆さんが心身共に健康な学生生活

が送れるよう支援しています。保健管理部門では、体調が悪くなった時や怪我をした時に診察や応急処置を受けることができ、心の健康に関する相談や治療は予約制で精神科医師が対応しています。また、春の定期健康診断をはじめ、さまざまな健康診断を通じて健康管理と健康指導を行っています。休養室や、測定機器（身長・体重・血圧・視力・骨密度・貧血等）、運動機器（ランニングマシン・エアロバイク等）も自由に利用することができます。

総合相談部門は、精神的な不調や対人関係の問題、修学上の悩み、自分の性格、人権・ハラスメントの問題などあらゆる相談に応じます。電話などでの相談予約の上、インテーカーが簡単な相談内容を確認し、臨床心理士等の専門家との相談となります。また、適宜、関係する専門機関の紹介も行っています。休憩などでフリースペースを利用する際は、予約はおりませんので、気軽にお越しください。

より良い学生生活を送るためにはここから双方の健康管理がとて大切です。「調子が悪い」「こけた！」「太った？」「困ったな：」「大学になじめない」「気分転換に」など、どんなことでも

情報センター

情報センター
ICT推進室 特任助教
関陽介（せきようすけ）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから長い学生生活がスタートします。研究やサークル活動、アルバイトなど様々なことを経験するかと思いますが、素敵なキャンパスライフを過ごして頂ければと思います。

1. 情報センターについて

本センターでは徳島大学の主要なシステムを管理し、学生や教職員の皆さんに提供しています。例えば、授業や自習などで利用するパソコン管理や、学内無線LANの整備説明会の開催やマニュアル提供、サポート窓口の運営などを行っています。

2. 利用できるシステム（例）

- メールシステム：学内、学外で受信できるメールアドレスを利用できます。
- 演習室パソコン：授業や自習等でパソコンを自由に利用できます。
- 学習管理・履修、成績等の閲覧システムや学習管理システム等があります。
- 学内無線LAN：キャンパス内で無線LANを利用できます。

3. 最後に

学生生活が始まると、多くのシステムに触れることとなります。メールや無線LANなど各システムの利用方法や、パソコンにログインできないなどのトラブルその他、色々分からないことが出てくると思いますので、何かありましたら本センターのサポート窓口を是非ご利用下さい。

キャリア支援室

キャリア支援室長
成行 義文（なりゆきよしふみ）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。4年後あるいは6年後に、専門知識はもちろんのこと幅広い教養を身に付けた社会人として羽ばたけるよう充実した大学生活を送っていただきたいと思えます。

大学生活の成否は就職にかかっていると言っても過言ではありません。望む所に就職するためには、業界・企業についてよく知るとともに、自分の適性を把握し、社会人基礎力を養う必要があります。キャリア支援室では、これらの能力を向上させるため、総合科学部と工学部を対象としてキャリア教育を実施しています。また全学部・大学院を対象として、合同企業説明会や就職ガイダンスの開催、キャリアカウンセラーによる就職

利用案内

●キャリア支援室（常三島地区）共通教育4号館1階
月～金 8:30～17:15
Tel:088-656-7635（常三島地区・蔵本地区共通）
●キャリア支援室蔵本分室（蔵本地区）蔵本会館2階
月～金 13:00～21:00
※就職相談は予約制です。常三島地区は直接来室して、また蔵本地区は電話で申し込んでください。
キャリア支援室ホームページ
http://www.tokushima-u.ac.jp/career/job_center/



情報センター（常三島キャンパス）

利用案内

●情報センター（常三島キャンパス）
月～金 8:30～17:15
Tel:088-656-7557
●蔵本分室（蔵本キャンパス図書館1階）
月～金 8:30～17:15
Tel:088-633-7708
情報センターホームページ
<http://www.tokushima-u.ac.jp/ait/>
その他お問い合わせは、以下のメールアドレスまで
callcenter.ait@tokushima-u.ac.jp



保健管理部門 ヘルスチェックルーム

総合相談部門 ほっとコーナー

利用案内

利用時間 月～金 8:30～17:15（共通）
常三島キャンパス：共通教育5号館1F
蔵本キャンパス：蔵本会館2F
●保健管理部門
Tel:088-656-7289（常三島）
Tel:088-633-7591（蔵本）
●総合相談部門
予約制となっていますので下記までご連絡下さい。
Tel:088-656-7637（常三島・蔵本共通）
E-Mail: hsc.counseling@tokushima-u.ac.jp

構いませので、ぜひ気軽に保健管理・総合相談センターを利用してください。また、ほっとの会（グループ活動）や健康教室などのイベントも開催していますので、たくさんの方の参加お待ちしております！

国際センター

国際センター准教授

坂田 浩(さかたひろし)

徳島大学へのご入学おめでとうございます。国際センターは、徳島大学における国際交流の拠点として、そして留学生・日本人学生・教職員・地域を結ぶ「架け橋」として様々な活動を展開しています。国際センターは、「国際展開推進シンポジウム」やサマープログラムなどの様々な国際交流事業に対する支援、ならびに留学生や留学を希望する日本人学生に対する各種生活支援・指導を行う「交流部門」、留学生に対する日本語教育や日本語教師を目指す日本人学生の育成を行う「教育部門」という2部門に分れており、お互いに協力しながら大学全体の国際化を推進する努力をしています。

新入生の皆さんに直接関係するものとしては、まず、「短期海外研修」を挙げる事ができるでしょう。本センターは、アメリカ、中国、ニュージーランド、オーストラリアへの短期海外研修を企画・運営しており、参加希望する学生への指導・相談も行っています。また、日本語教育を通して留学生を支援する「サポーター制



国際交流サロン



2013年度国際センターサマースクール

度」、地域「留学生」日本人学生が共に参加する「国際交流サロン」などを展開しており、日本にいなから異文化交流を実体験できる機会も数多く提供しています。

「海外に留学したいけど、何から始めたらいいのか：」「留学生と交流したいけど、どこに行ったらいいのか：」という方は、是非一度国際センターに連絡してみてください。

国際センターに連絡したい時は、国際交流係に連絡してください。

国際課 国際交流係
E-mail: ryugakuk@tokushima-u.ac.jp

徳島大学生生活協同組合

徳島大学生生活協同組合専務理事

清水 麻理子(しみずまりこ)

徳島大学へのご入学おめでとうございます。私ども徳島大学生生活協同組合職員一同、心からお慶び申し上げます。

徳島大学生協は、徳島大学の学生・教職員を構成員とする学内の福利厚生団体です。国立大学法人徳島大学より委託を受け、「徳島

(私たちも応援します)

大学の福利厚生の充実と魅力ある大学づくりに貢献すること」を目的とし、学生生活に必要な様々な事業やサービスを行っています。食堂・購買・書籍(教科書)住まい紹介や管理・旅行サービスなど、学生生活に必要なものを提供しています。

学生の皆さんには「大学生活を健康安全に過ごしてほしい」と願っています。そのためには、「食べること」ともしものときの「共済・保険」に加入しておくことが必要かと思えます。ほとんどの学生が大学の講義、サークル、アルバイトと忙しく、食生活が乱れがちです。自宅生も同様です。生協食堂では豊富なメニューを取り揃え、一日3食しっかり食べていただけるようお待ちしております。北海道フェアや九州フェアなどのご当地メニューフェアなど毎月様々なフェアがあり、学生たちにも好評です。ぜひ生協食堂をご利用ください。

また生協では、学生どうしの「たすけあい」を目的とした「学生総合共済」や、他人に迷惑をかけた、損害賠償を請求された場合に保障する「学生賠償責任保険」を取り扱っています。思いがけない事故や病気、災害に備え、学生どうしで力を合わせて安心・安全な学生



食堂のサラダバー



キッチンSAKU-RA(蔵本会館 1階)

同窓会から

寄せられた

メッセージ



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。医学部医学科の同窓会は青藍会と称し、会員相互の親睦を図るとともに、母校の発展に尽くすことを目的としています。

本学部のルーツは1943年に開学した徳島県立医学専門学校にあり、今年で71周年を迎えます。正会員数は2013年7月現在で5676名で、全国に12の支部を擁し、約5100名の方が北は北海道から南は沖縄県までの全国各地で、また20名余りの方が国外で活躍しています。医学部医学科新入生の皆さんは本会の準会員に登録されています。

青藍会 医学部医学科同窓会

栄友会 医学部医学科栄養学科同窓会

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの大学生活が実りあるものとなりますことを心より願っています。栄友会は、医学部医学科栄養学科(旧栄養学科)の卒業生・在学生・教職員などで組織された同窓会です(現会員数2689名)。1964年に全国で唯一の医学部に設置された栄養学科は、50年の時を経て、本年4月に改組し医学科栄養学科となりました。医科栄養学科の第1期生となる皆さんは、これからの日本の栄養学を担っていく人材として期待されています。栄友会は様々な活動を通じて、会員の皆さんを支援しています。

蔵歯会 歯学部同窓会

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。陸眉会は、徳島大学医学部保健学科、および同大学院保健科学教育部、並びに前身校をすべて含めた同窓会で、卒業生、在校生、教職員で組織されています。平成8年に発足し、会員名簿や会報の発行、総会や講演会の開催などを行い、会員相互の親睦と母校の発展のために活動しています。現在の会員数は、6148名です。新入生の皆さんは、本会の準会員として登録されています。

陸眉会 医学部保健学科同窓会

蔵歯会 歯学部同窓会

歯学科ならびに口腔保健学科へのご入学おめでとうございます。歯学部同窓会は平成2年に設立され蔵歯会と称しています。卒業生数は、平成25年3月で歯学科31期1733名と口腔保健学科3期47名の総計1780名となりました。関東、東海、京都、滋賀、大阪、兵庫、岡山、香川、愛媛、高知、徳島、大学に支部組織があり、それぞれの地域で活発に活動しています。卒業前には、進学就職ガイダンスや支部説明会を開催し、卒後の進路相談を行っています。また、卒業時には記念品を贈呈いたします。在学時から皆さんの支援を惜しみませんので、お気軽にご利用ください。

工業会 工学部同窓会

新入生の皆さん、徳島大学にご入学おめでとうございます。薬友会は徳島大学薬学部の卒業生・大学院修了生のための同窓会組織で、会員数は卒業生・大学院修了生合わせて6796名です。薬友会は在学生に対しては卒業生からの就職情報提供を、また卒業生に対しては同窓会誌や会員名簿の発行および同窓会の開催支援を通じて、徳島大学薬学部同窓生の世代を超えた結びつきを応援しています。

薬友会 薬学部同窓会

工業会 工学部同窓会

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。立派な技術者・研究者を目指して充実した大学生活を送られることを願っております。工業会は徳島大学工学部・大学院、ならびにその前身校の卒業生・修了生と教職員を会員とする1933年に設立された会員数約3万人の同窓会組織です。新入生の皆さんは卒業するまでは準会員として登録されています。工業会には、全国に16もの支部があり、会員相互の世代を超えた交流を積極的に支援しています。このネットワークは皆さんが将来就職活動をする際ならびに就職後の頼もしい味方となります。

工学部同窓会

事務局連絡先 〒770-8505 徳島市庄町1-78-1
徳島大学薬学部内薬友会事務局
Tel:088-633-7250 / Fax:088-633-9517
E-mail: yakuyu@ph.tokushima-u.ac.jp
URL:http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/faculty/alum/reunion/

工業部同窓会

事務局連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1
徳島大学工学部内 Tel:088-656-5432
E-mail:office@kgk.tokushima-u.ac.jp
URL:http://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/

事務局連絡先 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
徳島大学総合科学部内 徳島大学渭水会事務局Tel / Fax: 088-656-7293
E-mail: isui@ias.tokushima-u.ac.jp URL: http://www.isuikai.jp

事務局連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医学科栄養学科内栄友会事務局
e-mail: dosokai@nutr.med.tokushima-u.ac.jp URL: http://eiyo.jimdo.com/

事務局連絡先 770-8504 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学歯学部同窓会
Tel:080-6392-7362 / Fax:020-4622-5181
E-mail:honbu@dentclin.tokushima-u.ac.jp URL:http://www.tokudai-d.net

事務局連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1
徳島大学工学部内 Tel:088-656-5432
E-mail:office@kgk.tokushima-u.ac.jp
URL:http://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/

新蔵地区 キャンパスマップ

Shinkura Campus Map

常三島キャンパスまで徒歩15分



地域・国際交流プラザ [日亜会館]

1F: ガレリア新蔵、地域創生センター
徳島大学の地域連携・社会交流活動拠点として、①各種イベントの開催、②教育研究活動の展示紹介などに活用されます。「ガレリア新蔵」エリアにはLEDディスプレイや可動式展示スクリーンを設置し、展示室では、様々なテーマの特別展示を行っています。

2F: 国際センター
国際センターでは下記の業務を行っています。

- 日本語教育
全学日本語コース: 初級～上級、本学の全留学生対象
日本語・日本事情: 上級以上、学部留学生の共通教育科目
日本語研修コース: 国費留学生中心の講習(毎日4、5時間)
日韓理工系コース: 中級、文科省の日韓プログラム集中講習
- 海外留学相談:
留学に関する各種相談を受け付けています。
- 留学生の生活相談: トラブル、悩み事等の相談室を設置しました。

ホームページ: <http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>

3F: 放送大学徳島学習センター

4F: 留学生宿舎

銀行ATM

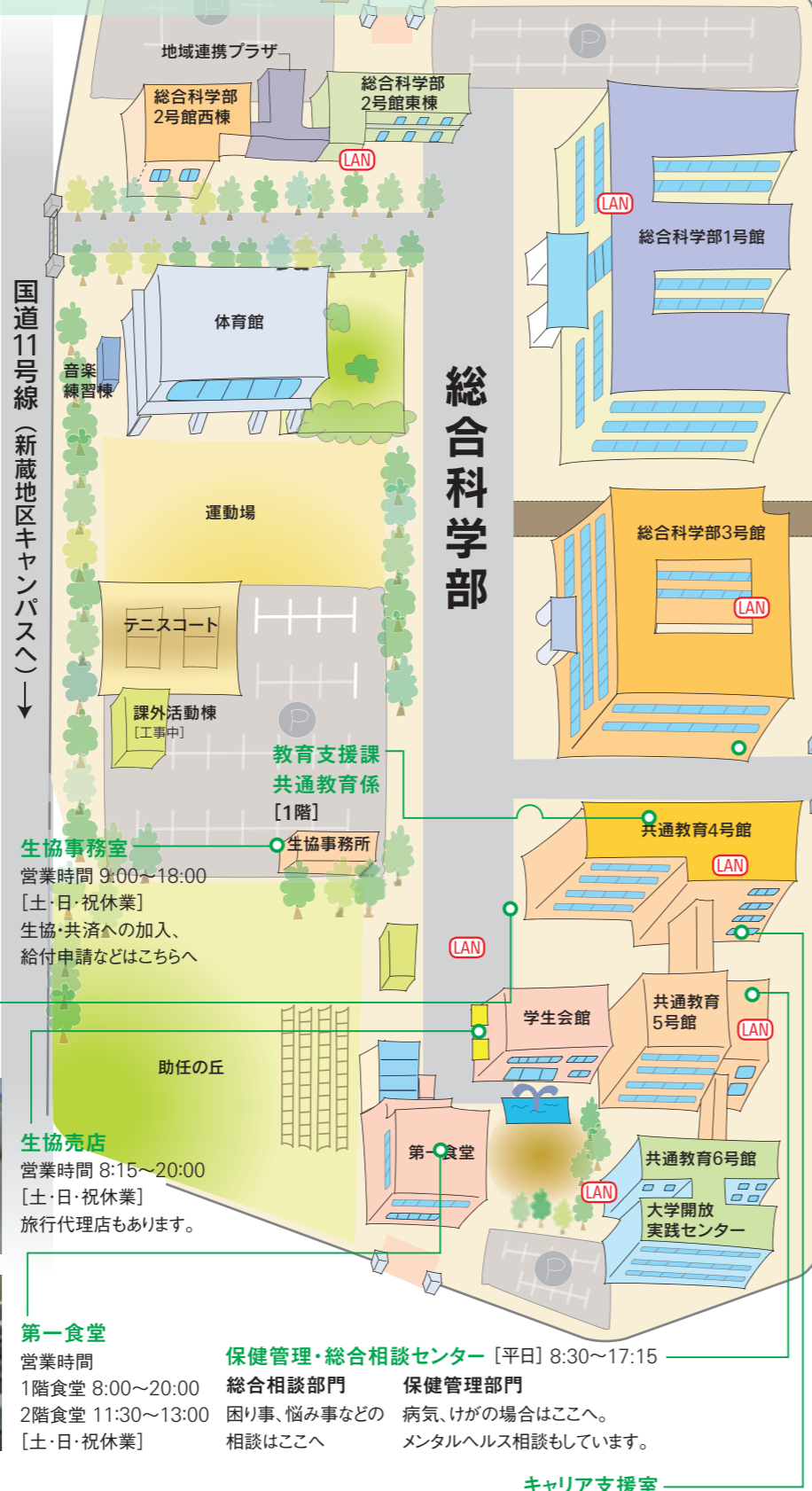
阿波銀行・徳島銀行
徳島信用金庫 共通
ゆうちょ銀行ATM



総合科学部自習スペース
スタジオ
総合科学部3号館東1～3階
(授業・講演等に使用する場合がありますのであいている時のみ)
設備: 机、椅子、自動販売機(1階のみ)

全学共通教育センター学習支援室
総合科学部3号館東1階
スタジオ一角机、椅子、辞書、参考書籍、ホワイトボード等。教員の待機時間には、学習の相談にのってくれます。

全学共通教育センター学生自習スペース
共通教育5号館2階
机、椅子、自動販売機



第一食堂
営業時間
1階食堂 8:00～20:00
2階食堂 11:30～13:00
[土・日・祝休業]

保健管理・総合相談センター [平日] 8:30～17:15
総合相談部門 保健管理部門
困り事、悩み事などの相談はここへ
病気、けがの場合はここへ。
メンタルヘルス相談もしています。

キャリア支援室

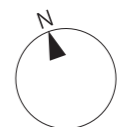


生協ミニショップ
Emi*re (えみり)
営業時間 [平日] 10:00～20:00 [土・日・祝休業]

総合科学部 工学部

常三島地区 キャンパスマップ

Josanjima Campus Map



工学部中庭
[キャンパスモール]



シンボルストリート



附属図書館
開館時間 [平日] 8:30～22:00 [土・日・祝] 10:00～17:00 学習・パソコン利用

工学部自習スペース

- 自習エリア
工学部共通講義棟2～6階
- 中央エレベータ前にバーテーションで区切られたエリア。エアコン完備。机・椅子(合わせて150名分)4階に自動販売機(飲料)
- 学びの相談室
工学部共通講義棟3階西端
- その他
徳島大学生協前(屋外) / 設備: 机、椅子、テント
学生会館1階 / 設備: 机、椅子、雑誌

蔵本地区 キャンパスマップ

Kuramoto Campus Map



長井庭園



生協Cafeteria
KURA-LA (くらら)
営業時間
[平日] 8:00~17:00
[土・日・祝休業]



附属図書館蔵本分館
開館時間
[平日] 8:30~21:00
[土・日・祝] 10:00~17:00
学習・パソコン利用



タリーズコーヒー [1階]
営業時間 [平日] 7:30~18:30
[土・日・祝休業]



薬学部スタジオプラザ
勉学に、語らいに

[1階]

キッチン SAKU-RA (さくら)
営業時間 [平日] 8:00 -20:00
[土・日・祝休業]



コンビニ LUCK-LA (らくら)
営業時間 [平日] 9:00~19:00
[土] 10:00~13:00
[日・祝休業]



書籍・文具・PC SHOKO-LA (しょくら)
営業時間 [平日] 9:00~19:00
[土] 10:00~13:30
[日・祝休業]



[2階]

アルバイト情報コーナー、
ソフトボール用品等の無料貸出
体育館、和室の予約もこちらで。

キャリア支援室蔵本分室
[平日] 13:00~21:00

保健管理・総合相談センター
[平日] 8:30~17:15

保健管理部門(蔵本保健室)
病気、けがの場合はここへ
総合相談部門
困り事、悩み事などの相談はここへ

自習スペース

医学部

- [医学科] (学年指定)
- 学生自習室(2室) / 臨床講義棟1階
- チュートリアル室(13室) / 医学基礎B棟3-4階
- 学生自習室(3室) / 医学部基礎B棟3階
- 学生自習室 / HBS生命科学棟1階
- / 臨床学生控室2階
- クリクラ控室 / 医学臨床A棟2階

[医科栄養学科]

- 学生支援室 / 栄養学棟2階 202

[保健学科]

- 看護学専攻学生自習室 / 保健学A棟1階 5階
- 放射線技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟3階
- 検査技術科学専攻学生自習室 / 保健学A棟5階
- 学生自習室 / 保健学C棟1・2階 / 保健学A棟1階

歯学部

- 学生控室 / 歯学部2階
- ソファ、掲示板、自動販売機(飲料)、コピー機、ロッカー

薬学部

- 学生自習室 / 薬学棟西側
- 交流広場 / 薬学棟西側
- 机、椅子、テント



天吉うどん [1階]
営業時間 [平日] 10:00~18:30
[土・日・祝休業]



LAWSON [1階] 年中無休
営業時間 7:00~22:00



病院内郵便局 [1階]
営業時間 [平日] 9:00~17:00
[土・日・祝休業]



厚仁会売店ポスタ [1階]
営業時間 [平日] 8:00~18:00
[土・日・祝休業]

クリーニング取扱店カリタ [1階]
営業時間 平日8:00~18:00
[土・日・祝休業]

果物店ココメロ [1階]
営業時間
[平日] 8:30~17:30
[土・祝] 8:30~15:00
[日] 8:30~12:00



銀行ATM [1階]
阿波銀行 / 徳島銀行 / 四国銀行
営業時間
[平日] 8:45~18:00
[土] 9:00~18:00 [日・祝休業]



レストラン「Sora」
[西病棟11階]
営業時間
[平日] 11:00~17:00
[土・祝] 11:00~16:00
[日休業]



美容室 [2階]
営業時間
[平日] 9:00~17:00
[土・日・祝休業]

徳島大学

4月・5月

● 入学式 (4月7日)



● 五月祭 (5月)

五月祭は、主として新入生を対象に学生相互の親睦をはかることを目的とし、毎年5月に開催しています。ステージ、模擬店、貴歩企画などで交流の輪を広げます。



6月・7月

● 四国地区

大学総合体育大会

学生の健全なる体育の発展と学生相互の親睦をはかることを目的とし、四国地区の国・公・私立(短大を含む)大学の学生が参加します。



8月・9月

● 科学体験フェスティバル

in徳島 (8月9日・10日、工学部)

● 徳島大学
オープンキャンパス
(8月上旬～中旬、
常三島・蔵本キャンパス)



10月・11月

● 開学記念日 (11月2日)

● 大学祭 (11月1日～3日)

大学祭はこれまで61回行われ、大学の課外活動としては最も歴史的かつ最大のイベントです。各学部・各サークルの趣向をこらした催し物、学部研究室の一般開放、市民と学生のつどいなど地域社会との交流もいろいろ企画され、全学あげての多彩な祭典が繰り広げられます。



12月・
2015年
1月

● 中・四国国立大学連合演奏会・
連合美術展覧会

学生の健全なる文化の発展と学生相互の親睦をはかることを目的として、中・四国の国立大学法人9大学の学生が参加して行われます。

2月・3月

● 卒業式 (3月23日)



徳島

● とくしまマラソン (4月20日)

四国最大規模のマラソン大会です。2014年は約10,000名のランナーがゴールを目指します。



● 第33回ベートーベン
「第九」交響曲演奏会
(6月1日、鳴門市文化会館)

● ひわさうみがめトリアスロン
(7月20日、美波町)



● 阿波踊り (8月中旬、県内各地)

400年の歴史を持つ徳島の夏祭りです。徳島大学からも多くの連(踊りのグループ)が参加します。



● 阿波の狸まつり
(11月上旬、徳島市藍場浜公園)

ステージではショーやコンサートが行われます。各市町村の特産品も販売されます。

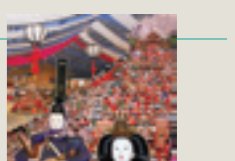


● 徳島駅伝
(1月上旬、県内各地)

昭和30年から続く伝統ある大会です。中学生から実業団選手まで、世代を超えて出場します。

● 第27回ビッグひな祭り
(2月下旬～4月上旬、
勝浦町人形文化交流館(仮設展示場))

会場には、高さ約8mのひな壇に約3万体のひな人形を飾り付けます。



総合科学部 社会創生学科 4年
下村 司 (しもむらつかさ)



NYで開催されたイベント「Japan Day」で阿波踊りを披露

「新町カウントダウン2014」終了後に実行委員会のメンバーと

皆さん、こんにちは。今回、当コーナーを担当させていただきました。総合科学部社会創生学科4年の下村司と申します。生まれも育ちも徳島という生粋の徳島県民です。

さて、自分の大学生活も残すところ約一年となりましたが、自分が大学に入学してから大切にしていることがあります。授業も本分として当然ながら大切にしていますが、堅い話は苦手なので、今回はそれ以外のことについて書かせていただきます。

自分が大切にしていること、軸

にしていることは、「面白そうと思つたことをやる」ということです。そのため、学内外を問わず、様々な活動やイベントに関わらせていただきました。俗に言う地域活動的なことをしています。

既に引退した大学祭実行委員会では、副委員長として新たな企画や広報を実施しました。ま



た「Home Island Project」という団体の「HIP NY Project」という企画では、世界の文化の中心ニューヨークで開催された祭典で阿波踊りを披露するなど、四国の文化を海外に発信するという活動も行いました。さらに、徳島を少しでも盛り上げたいという思いから「新町カウントダウン」という2000人以上の人が集まる年末のイベントを学生主体で企画運営しています。さらに、ヒッチハイクで神戸や東京まで遊びに行ったり、その他にも様々なイベントや活動に参加させていただいています。

そうした学生生活を過ごす中で重要だと思ふことは、「人との出会いや繋がりに感謝する」ということです。

一見すると、チープで陳腐な言葉ですが、特に大学に入ってからはこの言葉の意味を痛感しています。全ては些細なきっかけや偶然から始まり、そこから新たな発見や繋がりがや出会いが生まれ、他大や学の方や社会人の方といった、年齢やジャンルが異なる方々にお会いする機会があり、地域活動的なことを通じて様々な経験を得る、自分にとって、これは素敵なことだと思っています。

大学に入ってから、「自分から

My Life Situation

- サークル
大学祭実行委員会、
新町カウントダウン実行委員会
- アルバイト
タウン誌の取材や撮影、
短期バイト、等
- 趣味
読書、カメラ



地元の成人式で司会をさせていただいた時の運営メンバーと(本人左端)

「一步を踏み出すこと」や「自分の視野を広げること」とその大切さを、周囲の方から学んできました。そうした中で、自分の成長などを実感できた時には、活動が続けてきて良かったと実感します。重畳、全ては自分が面白そうと思つたことをただやっただけではありません。

最後になりましたが、自分のような若輩者が本誌の紙幅を割いていることに恐縮しています。しかし、このような機会を与えていただき、深謝しています。この拙文が、読者の皆様にとって何かのきっかけになれば幸いです。